

住み続けたいまち“おかだ”  
まちづくり計画



平成23年4月1日  
岡田コミュニティ



## はじめに

私たちの岡田は、温暖にして自然環境に恵まれた緑豊かな田園地帯であり、この土地には、弥生時代の住居跡が点在しており、私たちの先祖がはるかな昔から力をあわせ、汗を流し、知恵を出し合いながら育んできた生活の歴史が刻み込まれています。そして、このような先人の優れた足跡を生かしながら、岡田のよりよい明日を目指して努力することが私たちに課せられた義務と考えます。振り返ってみますと、岡田が数々の変遷を経て岡田村としてほぼ現在の形を整えたのが明治23年。その後、昭和34年に岡田村は当時の久万玉村と合併し、綾歌町となりました。そして、緑あふれる人情豊かな活力ある町として半世紀にわたり発展してまいりました。

しかし、バブル経済の崩壊に始まった長期不況と右肩上がり成長の終焉、少子高齢化の進行、行財政改革や地方分権の進展など大きく様変わりする環境のなかで、地方自治体の財政基盤の強化と効率化を目的に国主導のいわゆる平成の大合併が進められ、平成17年、この綾歌町も飯山町、丸亀市と合併し、新丸亀市として再スタートし、現在に至っているのはご存じのとおりです。

新市発足にあたり、合併と同時に地域の生活共同体として、住民の自主性と、相互の信頼感に基づき、快適な生活環境、健康で文化的な生活、心触れあう住みよい豊かな町づくりを推進することを目的とした、コミュニティ組織が設立され、岡田コミュニティが誕生しました。

この「まちづくり計画」は、平成19年度にスタートした丸亀市総合計画の基本理念ならびに岡田コミュニティの目的を踏まえ、住民自らが先人から受け継いできた地域の伝統、文化、産業を守りつつよりよい明日のために、総意と工夫のもとに取り組んでいこうとするもので、向こう5カ年の計画を策定いたしました。

本計画の今後の実施にあたっては、地域の皆様方や関係機関の方々と綿密な連携を保ちながら実践して参りたいと考えていますので、皆様方の積極的なコミュニティ活動への参加と更なるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年4月

丸亀市岡田コミュニティ  
会長 馬場 俊作

# 目 次

## 第1章 岡田の概要

1. 位置と現状	.....	3	P
2. 歴史			
3. 土地・面積(地区〈大字〉別面積、主要地目別面積).....		4	P
4. 世帯数及び人口	.....	5	P
(世帯数及び人口の推移、世帯別人口の推移、年齢別人口)			
5. 産業	.....	7	P
6. 公共施設			
7. コミュニティ構成団体			
8. 神社・仏閣	(1) 神社 (2) 仏閣.....	7~8	P
9. 古代の遺跡	.....	8~9	P
10. 無形文化財(岡田おどり)			
11. 年中行事	.....	10	P

## 第2章 まちづくり計画

1. 策定の背景	.....	11~12	P
2. 私たちをとりまく課題			
(1) 交通網			
(2) 人口減少と世帯構成の変化			
(3) 住民意識や社会情勢の変化			
(4) 保育・教育施設			
(5) 森林公園の整備・活用			
(6) 団塊世代の退職と社会参加			
3. 私たちのめざすまち			
4. まちづくりの目標			
5. 計画期間	.....	13	P
6. まちづくり計画事業	.....	13~15	P
(1) 安心して暮らせるまち			
(2) 自然と環境を大切にするまち			
(3) 人がいきがいと輝くまち			
(4) 地域に根差した協働のまち			

## 岡 田 の 概 要

### 1 位置と現状

岡田地区は香川県のほぼ中央に位置し、地形は南に高く、北に緩やかに傾斜した台地状となっている。北は比高差10～15メートルで丸亀平野に接している。東には讃岐七富士のひとつ堤山があり、西は西山と1級河川である土器川が隣町と境している。また、南は綾歌三山（城山、猫山、高見峰）が連なり、北には讃岐富士（飯野山）を望むことができる。気候は温暖で災害も少なく、自然環境や自然条件に恵まれた地域である。しかし、西山や城山の周辺の一部には、土石流危険渓流や急傾斜地崩壊危険箇所もみられる。

また、南部山地を除く平坦部には農地が広がり、ほぼ全域が農業振興地域に指定された農村地帯である。そして台地上を流れる小河川は随時せき止められ、そこには多くのため池が築かれている。

このほか地区内には最近4車線化された国道32号をはじめとした国県道が縦横に走り、県内唯一の私鉄であるコトデンとともに県内の主要都市とは比較的短時間で行き来できる環境にある。

### 2 歴 史

地区内は古くから人々の生活の場として開け、各所から住居跡、土器片などの遺物が出土している。その後も人々の営みは続き、平安から室町時代にかけては井上郷に属し、戦国時代には「岡田里」江戸時代のはじめは「岡田郷」と表記されて一つのまとまった地域となっている。

「井上郷」を連想する「井ノ岡」、「岡田」を冠した「岡田神社」「岡田廃寺」「岡田万塚」、廃寺跡を伝える「徳善寺」、「蓮光寺」、「岡田廃寺」「成願寺」、開発領主名を思わせる「俊正」「重永」「重光」「森俊」などの地名は、いずれも岡田上から岡田西にかけての大東川本流域に広がっており、この地の開発が西部から進んだことを示している。

江戸時代に入って「岡田郷」は高松藩に属し、岡田上、岡田下、岡田東、岡田西の4か村に分村して統治が行われ、明治維新を迎えた。

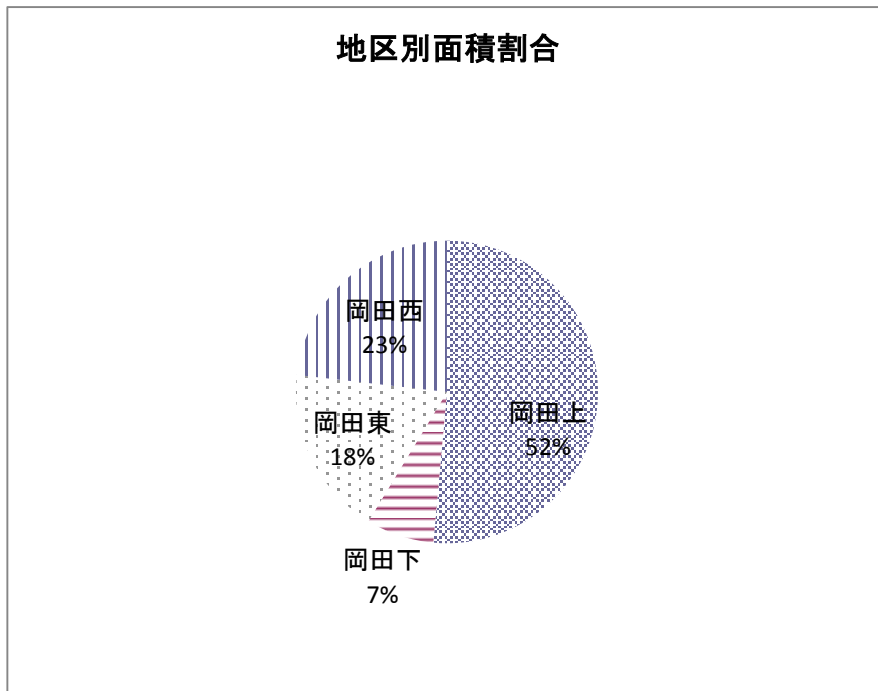
明治23年、市制町村制が施行されて、4か村が合併して岡田村が成立し、現在の岡田地区が形づくられた。

昭和34年4月1日には、隣村の久万玉村と合併して綾歌町となり、この綾歌町も平成17年3月22日には丸亀市、飯山町と合併して新しい丸亀市の一部となり、現在に至っている。

### 3 土地

○面積

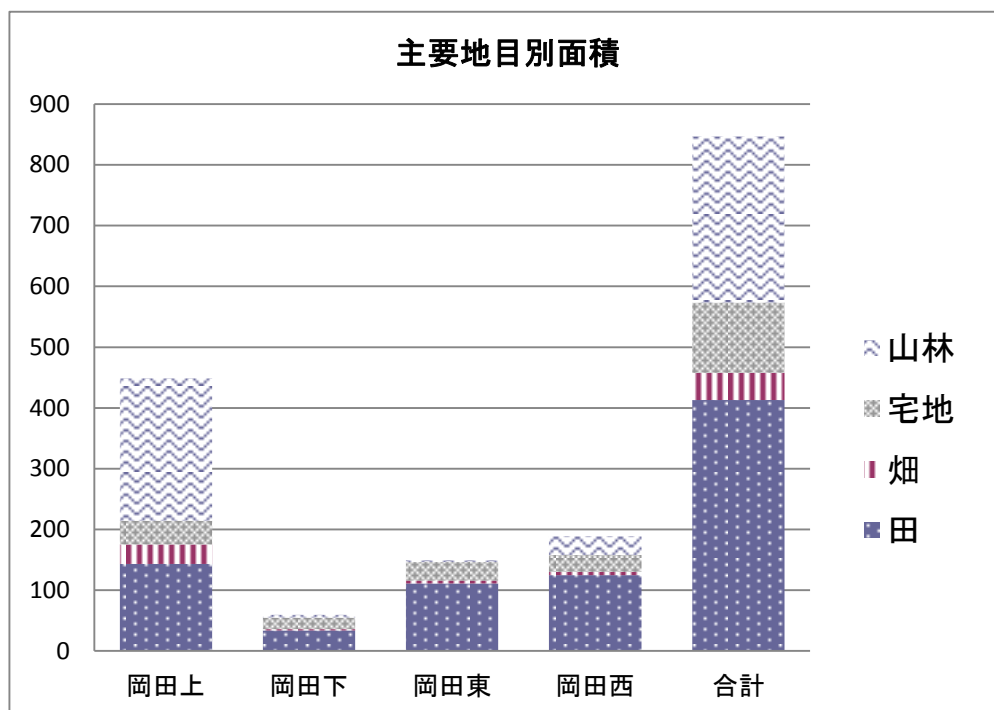
	岡田上	岡田下	岡田東	岡田西	合計
ha	586.3	82.8	206.2	264.5	1139.8



○主要地目別面積

単位: ha

	岡田上	岡田下	岡田東	岡田西	合計
田	143.3	33.7	111.2	124.8	413.0
畑	32.2	2.3	4.9	5.5	44.9
宅地	38.5	19.1	30.5	27.4	115.5
山林	234.7	4.4	3.1	31.1	273.3

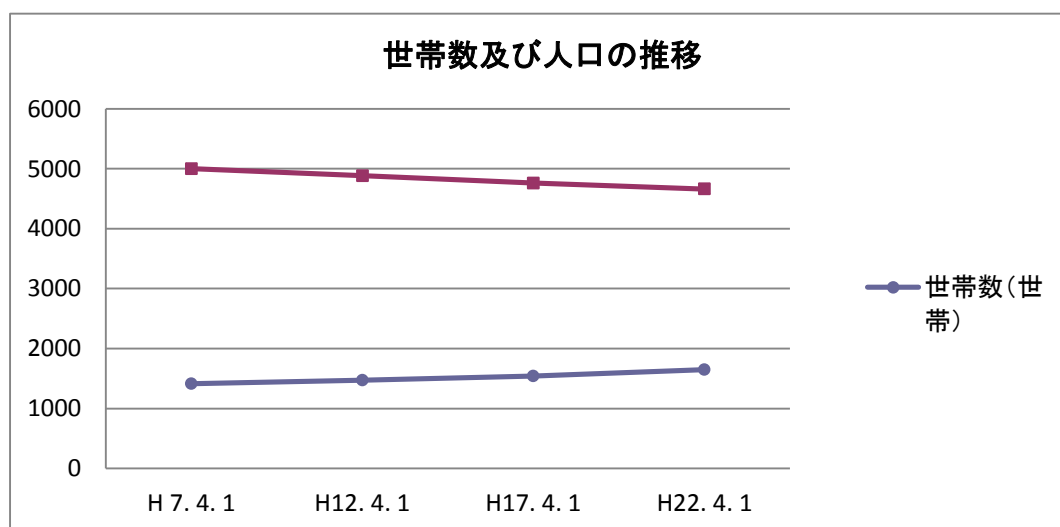


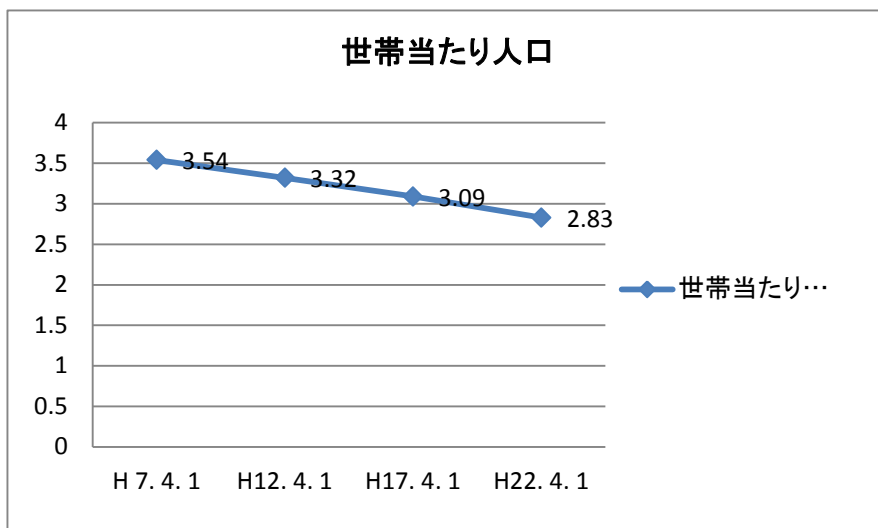
## 4 世帯数及び人口

## 4-1 世帯・人口

	世帯数	人口(人)	世帯当たり人口
H 7. 4. 1	1,413	5,000	3.54
H12. 4. 1	1,471	4,882	3.32
H17. 4. 1	1,541	4,761	3.09
H22. 4. 1	1,647	4,660	2.83

・世帯数・人口の15年間の推移をみると、一世帯あたりの人口が20%減少している。この現象は核家族化や単身世帯化が想像以上に加速していることがわかる。





#### 4-2 年齢別人口

	男子	女子	合計
0～10歳	184	200	384
11～20歳	235	184	419
21～30歳	242	217	459
31～40歳	278	267	545
41～50歳	233	256	489
51～60歳	338	368	706
61～70歳	355	374	729
71～80歳	230	317	547
81～90歳	106	214	320
91歳以上	17	45	62

・高齢化率(65歳以上1,305人)28,00%

